

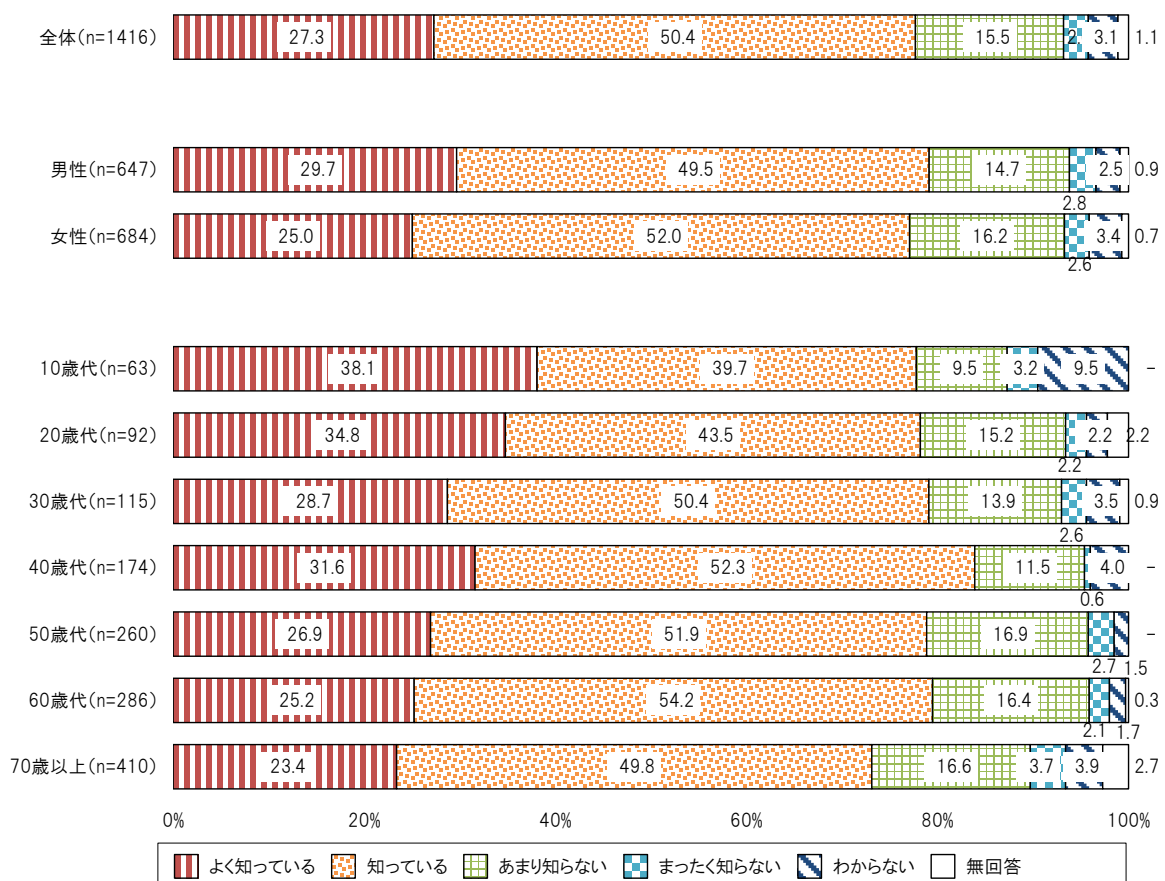
## 食品ロス削減の取組について

問 21 あなたは、現在、まだ食べることができる食品が、生産、製造、流通、販売、消費等の段階で日常的に廃棄されていることを知っていますか。(〇は1つだけ)

全体では「知っている」が50.4%で最も高く、ついで「よく知っている」が27.3%、「あまり知らない」が15.5%となっている。

性別にみると、「よく知っている」は男性が29.7%、女性が25.0%であり、男性の方が4.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「よく知っている」と「知っている」の合計の割合は、40歳代で最も高く83.9%であり、70歳以上で最も低く73.2%であった。同割合が8割以上であったのは40歳代だけであった。10歳代では「よく知っている」が38.1%と高くなっている。



問 22 松阪市が今後、食品ロスの削減をさらに推進するため、市、事業者、市民の責務等を明確にした食品ロスに関する条例制定の取組等を進める必要がありますか。  
(○は1つだけ)

全体では「どちらかといえば必要である」が42.3%で最も高く、ついで「必要である」が39.0%、「わからない」が11.2%となっている。

性別にみると、「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計の割合は、男性が81.2%、女性が82.3%であり、大きな違いは見られなかった。

年代別にみると、「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計の割合は、60歳代が最も高く83.6%であり、30歳代が最も低く78.2%であった。最も高い60歳代と最も低い30歳代の差は5.4ポイントであり、年代ごとの差はあまり大きくなかった。

